

〈鳥取会場〉 ● 鳥取県立図書館 大研修室 ● 鳥取市役所 ● 公立鳥取環境大学 ● 岩美むらなかキャンパス 〈倉吉会場〉 ● 倉吉交流プラザ
 〈米子会場〉 ● 米子市立図書館 ● 国際ファミリープラザ



介護サービス労働力不足と外国人労働者の受入

米子市立図書館
6/1(土)
 10:30~12:00
 動画配信
6月中旬~

講師 経営学部
 佐藤 彩子 准教授

皆さんは将来、介護が必要となった時、どのような人に介護されたいでしょうか？わが国では高齢者急増に伴い介護サービス需要が高まりをみせていますが、それに対応できるだけの労働力は十分に確保されていません。したがってこの不足を補うべく、近年、介護サービス産業では外国人労働者の受入が進んでいます。本講座では、介護サービス労働力不足の実態と外国人労働者受入の現状および課題を、地域差や地域特性に着目しながら説明します。



鳥取の植物 ~植物の生き方について考える~

鳥取県立図書館
8/31(土)
 10:30~12:00
 ※当日、図書館は休館日
 動画配信
9月中旬~

講師 環境学部
 笠木 哲也 教授

日本海側に位置する鳥取には多雪地帯特有の植物が分布しています。また、中国地方随一の標高を誇る大山には、ここを分布の西限とする貴重な植物が見られます。植物はただそこに生えているだけでなく、動物や昆虫とさまざまな関係を結んで生活しています。今回は、鳥取の植物がどのように環境に適応しながら生きているか、特に植物と昆虫の相互作用に注目してお話します。



変動帯としての日本で生きるとは？

倉吉交流プラザ
9/21(土)
 10:30~12:00
 動画配信
10月上旬~

講師 環境学部
 柚洞 一央 准教授

「日本・世界ジオパーク現地審査員」による、考えるヒント講座です。プレート4枚がぶつかる日本列島。プレートに押されていることで地震が起きます。大地は崩れやすく山は削られ平野が発達します。四季の変化、降水量の多さも大地の変化を大きなものにしていきます。そんな変動帯としての日本で私たちはどのように暮らせばよいのでしょうか。地球目線で見つめなおしてみませんか。



SDGsとは何であり、何ではないのか ~SDGsが取り残したのものたちから~

米子市立図書館
10/5(土)
 10:30~12:00
 動画配信
10月中旬~

講師 経営学部
 高井 亨 准教授

この数年でSDGs(持続可能な開発目標)は、もはやだれでも知っている合言葉になりました。しかし、ここに記されているたくさんの目標を知っていても、SDGsを理解することは難しいはず。そこで本講座では「SDGsとは何であり、何ではないのか」を明らかにすることを通じて、SDGsの本質に迫りたいと思います。また、その過程でSDGsが取り残してしまった重要な問題である「動物の〈個〉としてのいのち」について考えます。



食品ロスについて考える ~いのちとの向き合い方~

国際ファミリープラザ
11/30(土)
 10:30~12:00
 動画配信
12月中旬~

講師 環境学部
 門木 秀幸 准教授

我が国の食品ロス発生量は約500万トンとされています。食品ロスは食べられるのに廃棄されている食品です。食品は、もともと命があった生き物から生産され、消費者に安全に提供できるよう多大な努力がなされ、この過程で多くの資源を消費し、私たちの食卓に上ります。ひとたび廃棄物となると、多くは再資源化が困難であり焼却処分されます。本講座では食品ロスの現状、削減の取組み、私たちの命への向き合い方について考えます。



会計の歴史のはなし ~最古の会計記録および明治期の日本と中世ヨーロッパの会計を中心として~

鳥取県立図書館
12/21(土)
 10:30~12:00
 動画配信
 2025年
1月中旬~

講師 経営学部
 川崎 紘宗 准教授

社会に出て、はじめて簿記や会計について知った方もいらっしゃるのではないのでしょうか？そして会計ってよくわからない、難しいと感じの方もいらっしゃると思います。ではなぜ難しく感じてしまうのでしょうか？その疑問の一端を歴史からひも解くことが本講座の目的です。そして、最も古い会計記録はいつ頃のものか？であるとか、「簿記」と「会計」という同じような概念の二つの用語があるのはなぜなのか？といった点にも言及しながら会計の歴史のはなしをします。



臨床心理学入門

鳥取市役所
6/13(木)
 19:00~20:30
 対面のみ

講師 環境学部
 藤田 恵津子 教授

臨床心理学は、悩みや病気、障害などを抱えている人を理解し支援していくための学問です。当講座では、人間の発達過程(乳児期~成人期)について理解を深め、各過程の支援のあり方について解説します。そして、より良い支援のあり方について、小グループでのディスカッションを通して皆様と一緒に考えたいと思います。



市民マーケティングのすすめ

オンライン(Webex)実施
10/24(木)
 19:00~20:00
 動画配信
 Webexでのリアルタイム配信のみ

講師 経営学部
 磯野 誠 教授

「マーケティング」は、なにも経営の専門家だけが用いるものではありません。それは、人がものをつくったり、他者とやりとりするときに、より上手くできるようにするために用いることができる一種の考え方で、誰でも用いることができるものです。マラソンがアスリートだけのものではなく、一般の人にとっても「市民マラソン」として楽しめるものであるように、マーケティングも専門家だけのものではなく、一般の人にも用いてほしい、そう考え、「市民マーケティング」という考え方を紹介します。

〈企業・組織のデータをどう活かすか？〉 本学AI・数理・データサイエンス教育研究センターがコース形式で実施します！

社会人の方を対象に、「データを読む、説明する、扱う」といったAI・数理・データサイエンスの基本的な活用法に関するリカレント教育を3回連続で行います。ご希望のテーマのみのご参加も可能ですが、全3回の受講をお勧めします。



AI・データ分析を活用した業務改革プロジェクトの進め方

公立鳥取環境大学
6/26(水)
 19:00~20:30
 動画配信
7月中旬~

講師 経営学部
 AI・数理・データサイエンス教育研究センター長
 齊藤 哲 教授

最近AIやビッグデータ分析を活用した業務改革の成功例が数多く報告されています。一方で、プロジェクトが試行錯誤に陥り、期待した成果がでていないといった声もよく聞きます。これらのプロジェクトを分析すると、経営者の理解不足、現場の抵抗、技術者不足などの阻害要因が見えてきます。本講座では、これらの阻害要因を解決し、業務改革を成功に導くプロセスを考察します。



AI・データ分析を活用した業務改革プロジェクトの進め方

公立鳥取環境大学
7/10(水)
 19:00~20:30
 動画配信
8月上旬~

講師 人間形成教育センター
 堀 磨伊也 准教授

今後の社会においてAIをビジネススキルとして使いこなす力を身につけることは重要です。本講座では、認識・予測・生成・探索などのタスクを例として様々な状況でAIを活用することの「便利さ」や「楽しさ」を交えて技術を基礎から解説します。また実データを用いた演習を行うことで、実社会での問題に対する適切なAIの活用法の修得を目指します。※ノートパソコンをご持参いただけますと、その場で演習をご体験いただけます。聴講のみの受講も歓迎です。



データリテラシー ~洞察力の養成~

公立鳥取環境大学
7/24(水)
 19:00~20:30
 動画配信
8月中旬~

講師 人間形成教育センター
 久保 奨 准教授

「データリテラシー」とは、データを正しく読み取り、活用する能力のことを指します。あらゆる組織でデータを活用することが一般的になっている現代において、この能力は必要不可欠なスキルと言えます。本講座では、データの見方、説明方法、そして処理方法という3つの基本的なスキル*を身に付けることを目指します。*国は、文理を問わず、全ての大学・高専生が習得することを目標としています。

小学生対象講座 対象：小学生とその保護者(手話なし)



雨の降る仕組みを知って雨量計を作ろう

岩美むらなかキャンパス
7/20(土)
 10:00~11:30
 対面のみ

講師 環境学部
 重田 祥範 准教授

皆さんは雨の日は好きですか？外で遊ぶことができないので、嫌いな人も多いでしょう。それでも、雨は生物の生存にとって必要不可欠です。雨は、近年問題となっている地球温暖化とも関連しています。その雨は、雲の中からどのように降ってくるのでしょうか。今回は、雨の降る仕組みを知って、雨がどのくらい降ったのか測定する装置「オリジナル雨量計」を作ってみましょう。